

令和4年度（2022年度）学校版環境ISOへの取組
 < 学校名：熊本市立清水中学校 >

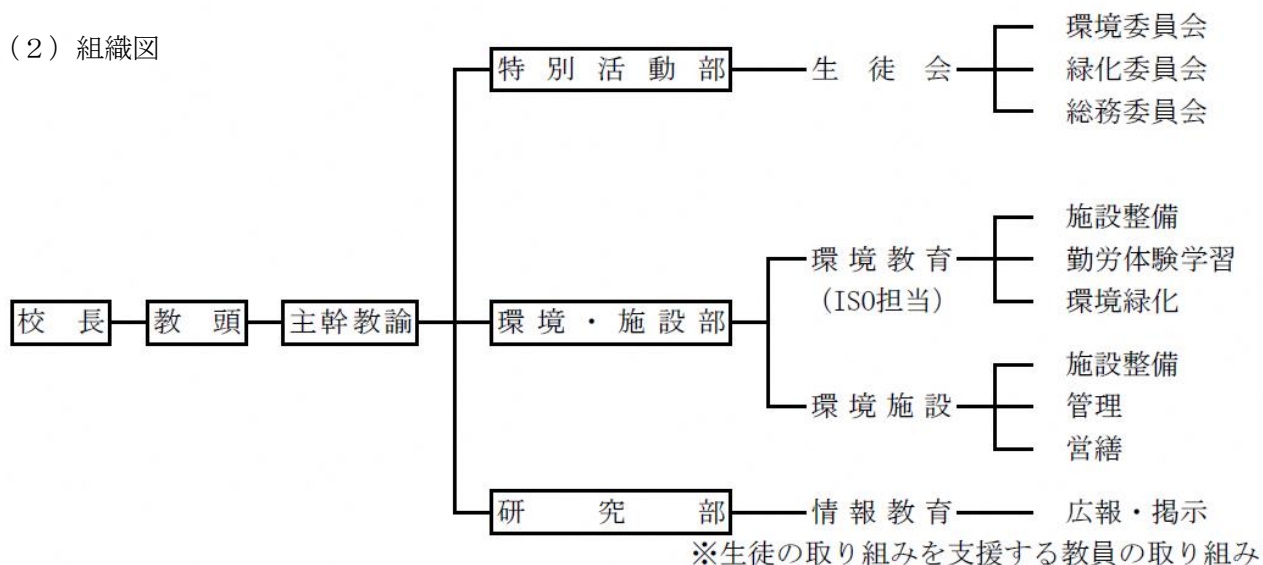
1 取組の概要報告

（1）取組の概要

1. 清水中学校環境教育 取組構想図および組織図



（2）組織図



2. 清水中 環境 ISO 行動項目 宣言

本校では、特に環境美化・緑化活動に力を入れています。

環境美化としては全校で無言掃除に取り組んでおり、掃除時間前に黙想の時間を設けることで、一斉に集中して清掃活動を行うようにしています。また掃除時間以外にも、委員会や部活動が主体となって朝のボランティア活動を行っており、校内だけでなく校外の落ち葉等まで丁寧に掃除を行っていたり、校内の掲示物の張り替えや管理を行ったりして、環境美化に取り組んでいます。

緑化活動では緑化委員会を中心に、プランターや校内外にある花壇の手入れなど、季節に合わせて学校を花や緑でいっぱいにするための活動を行っています。昨年度からは、緑化活動を全校生徒に広げるために、長期休暇の水やりや学級花壇の花の苗植え、除草等をクラスごとに取り組めるようにしました。

また、タブレット端末が全生徒、職員に配布されていることから、会議や授業等でのタブレット活用の一環として、昨年度から紙の削減にも取り組んでいます。

今年度も昨年度までの取組を継続しさらに充実させることを目標に、本校の実態および昨年度の反省も踏まえ、宣言項目を①資源物の分別回収（リサイクル）、②節水・節電、③環境美化の3つに設定しました。

3. 行動の記録

（1）資源物の分別回収（リサイクル）

① カンカン Tuesday

毎週火曜日に「カンカン Tuesday」と題して、アルミ缶の回収を行っていました。これは平成 17 年度から継続している取組で、各家庭からゴミとして捨てられるアルミ缶を回収することで、他の資源についても分別やリサイクルへの意識を高めることをねらいとしています。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一度も実施することができませんでした。また、今後についても再開は未定です。

② 古紙の回収

掃除時間に各学級のごみを回収する際、不要になった古紙の回収も行っています。各クラスで余ったプリント類や不要になった掲示物、トイレットペーパーの包み紙や芯などを分別して回収し（図 1）、まとめて古紙としてリサイクルに出しています。

③ ペットボトルキャップ回収

環境委員会の活動の 1 つとして、ペットボトルキャップの回収を行っています。ペットボトルキャップを昇降口で回収し、集まったペットボトルキャップは障がい者福祉事業所を通してタイ若竹寮等へ寄付しています。今年度は 4.0kg のペットボトルキャップを寄付することができました。



図 1 トイレの回収袋

（2）節水・節電

節水活動では、緑化委員会の水やりにおいて雨水タンクの活用を行っています。また学校全体では、掃除時間に使用するバケツに半分までの目印をつけることで、バケツの水の使用量を半分にしています（図 2）。年間を通してこれらの取組を行うことで、水道使用量の削減を目指しています。

節電活動では、余計な電気使用を減らすため、環境委員や総務委員が中心となって移動教室の際や掃除時間などこまめに消灯、扇風機のスイッチ



図 2 バケツの目印

チを切る等の取組をしています。日頃の活動を継続することで、環境委員や総務委員以外にも節電の意識が生まれることを目指しています。また、これらの節水、節電目標については1学期初めの生徒集会で、全校生徒に伝えました。年度末に結果をまとめて、全校生徒に報告する予定です。

(2) 環境美化

環境美化について生徒一人一人の意識を高めるため、1学期初めの生徒集会で掃除についての発表を行いました。無言掃除で磨かれる5つの心（我慢・気づく・思いやり・正直・感謝）について丁寧に説明することで、黙想から始まる15分間で考えながら掃除を行うことを目的としています。今年度も1学期と3学期に「掃除見直し旬間」を設け、細かい評価項目に沿って確認することで、自分たちで掃除を見直す機会を設定しました。

緑化委員会では、身の回りの環境をより豊かにするため、プランターや花壇の手入れに力を入れています。朝や掃除時間、長期休みに当番制で水やりや草取り（図4）を行ったり、花壇を分割して学級花壇をつくったりしています。今年度は、学級花壇のレイアウトをタブレットのロイロノートで募集し、クラスごとに工夫を凝らした学級花壇を作ることができました。また、その学級花壇をクラスマッチ形式で投票すること（図5）で、緑化委員以外の生徒にも環境への意識づけをすることができました。

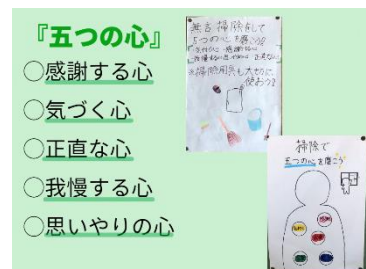


図3 生徒集会発表資料



図4 草取りの様子



図5 学級花壇クラスマッチの掲示物

(3) 職員の活動について

紙の使用量削減のため、会議資料等は Teams に電子資料として掲載したり、簡単な連絡事項は Teams や校務支援システムの掲示板を活用したりするなど紙を使わない工夫をしています。またゴミを出す際にも紙ゴミや各資源ゴミなど、職員室内でも分別回収を行っています。さらに、朝から委員会や部活動を中心に行っている清掃活動や緑化活動へ職員も積極的に参加し、校舎内外の環境整美に努めることができました（図6）。



図6 委員会の朝掃除活動

4. 見直し（成果と課題）

（１） 成果

今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、感染予防対策を講じながらできる範囲の活動を行うとともに、委員会の生徒だけではなく全校生徒が主体的に環境整美へ取り組もうとする意欲の向上を目指すことにしました。また清掃活動では1学期と3学期に「掃除見直し旬間」を設けたことで、時間いっぱい考えながら動く無言掃除に繋げることができました。他学級の環境委員が点検することによって、各学級が日頃の自分たちの掃除を振り返り、改める機会になりました。さらに委員会や部活動を中心とした朝のボランティア清掃も定着し、校内だけでなく地域に出て行く活動へとなっています。緑化活動では夏休みの水やり当番や学級花壇コンクールなど全校生徒が関わる企画を行うことで、委員会活動にとどまることのない取組ができました。



図7 掃除前の黙想の様子

また、節電については常時換気を行っていることから、前年比2%削減を目標にしていたが、校内の照明が昨年度末にLED化したこともあり、使用量を減らすことができました。今年度の夏は気温が高く、登校している間は常に換気をしながらエアコンが稼働していたこともあり、夏場の電気使用量は増加しましたが、全体としては12月までで比較すると約9%削減になっています（図8）。

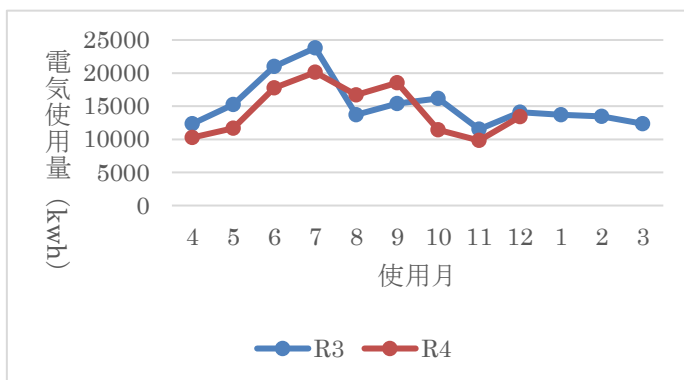


図8 毎月の電気使用量

さらに、昨年度から職員の活動として始めた会議資料や簡単な連絡事項等を電子化する取組は、2年目ということもあり現在ではスムーズにできています。紙の破棄が少なくなったためリサイクル量は減少してしまいましたが、昨年度に比べ紙の購入量を抑えることができました（図9）。B4の用紙の購入数が増えています、B5の用紙の購入が現在までありません。これは、今までB5で印刷していたものを2枚1組にしてB4で印刷したり、授業で配付するプリントのサイズを変更したりと、工夫する職員の環境に対する意識が高まってきている結果だと思えます。

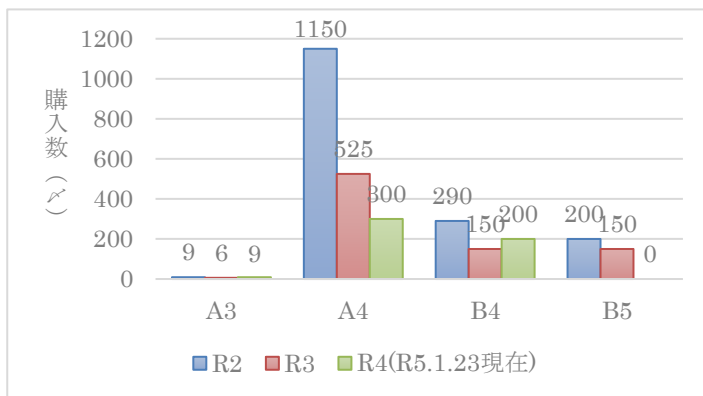


図9 コピー用紙購入数

（２） 課題

成果でも紹介したように、年間を通して生徒が主体となり委員会にとどまらない充実した活動が行なわれています。一方で新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、生徒たちの中で意識が弱まったり活動への意欲が低下したりしたものもあります。移動教室時の消灯は意識づいているものの、常時換気を行っているため扇風機やエアコンのスイッチの切り忘れ等が多く、全校への意識付けはまだできていないものと思われます。また、古紙の回収ではトイレトペーパーの芯や包み紙を、ごみ箱に捨てる生徒もあり、さらなる周知が必要です。今後も、生徒たちが主体的に自分たちの環境について考えられるような活動を展開し、他の委員会とも協力しながら、全校生徒が関わっていきけるような取組や活動を計画していきたいと思えます。